

区 分	高城科目－キャリア教育科目	担当教員	竹元 雅彦、増野 洋子			
授業科目	キャリアデザイン I					授業形態
英 訳	Career Design I					複数 クラス分け
配当年次	3年次 前期	必選別	必修	単位数	2 単位	
【授業の目的】						
<ul style="list-style-type: none"> 自己を客観視する視点の養成・自己の内部にある資源に気づき、自己理解を深める。 自己理解から、大学生生活の「キャリアデザインの構築」と「大学生生活のキャリアデザイン」作成し、自分の「夢へのアプローチ」の土台作りを行う。 						
【授業の到達目標】						
自己を客観視する視点の養成・自己資源の再認識を行い、自己理解を深める。自己理解から、大学生生活の「キャリアデザインの構築」と「大学生生活のキャリアデザイン」作成を通して、自己実現を目指す。						
【授業の概要】						
「キャリアデザイン」とは、自分自身の大学生生活や職業人生、キャリアについて、自らが主体となって構想し、実現していくことをいいます。「キャリアデザイン I」では、自分の夢を実現する為に、現状の自分の経験やスキルベースを再認識し、「ありたい将来像について」を考慮しながら、自らの持つ能力を活かすための「大学生生活のキャリアデザイン」の形成を進めていきます。						
【準備学習(予習・復習)】						
<ul style="list-style-type: none"> 前回の授業内容をよく理解しておくこと、不明点は質問すること テキスト、配付プリントを整理し内容を理解すること 						
【授業計画】						
第 01 回 オリエンテーション キャリアデザインと大学生生活						
第 02 回 自己のキャリアを考えると職業選択のステップ						
第 03 回 自己理解を深める I エゴグラムから見た自我						
第 04 回 自己理解を深める II 自己の経験と能力の棚卸①人生すごろく						
第 05 回 自己理解を深める II 自己の経験と能力の棚卸②人生すごろく						
第 06 回 ビジネスコミュニケーション能力						
第 07 回 自己理解を深める III キャリア意識						
第 08 回 自己理解を深める III 自立意識						
第 09 回 自己理解を深める IV キャリアアンカーとブランドハプスタンス						
第 10 回 仕事理解 1 仕事理解と職業適性						
第 11 回 仕事理解 2 企業が求める人材像 (能力要件と職業能力開発)						
第 12 回 キャリアビジョンのプレゼンテーション						
第 13 回 キャリア開発計画書の作成						
第 14 回 キャリア開発計画書発表						
第 15 回 まとめ						
【テキスト】						
プリント資料、ワークシートを配布します。						
【参考書・参考資料等】						
授業中に紹介します。						
【成績評価の方法等】						
課題 (ワークシート) の評価 (60%)、及びレポート (40%) の提出						
【履修要件等】						

区 分	高城科目－キャリア教育科目	担当教員	竹元 雅彦、増野 洋子			
授業科目	キャリアデザインⅡ				授業形態	
英 訳	Career Design Ⅱ				複数 クラス分け	
配当年次	3年次 後期	必選別	必修	単位数	2単位	
【授業の目的】 就職するために何ができていなければならないか、どのように就職活動を行い就職するのかについて、企業に対する理解と企業が求める人材像を踏まえて、自らのキャリアをデザインする。						
【授業の到達目標】 自己を客観視する視点の養成・自己資源の再認識を行い、自己理解を深める。自己理解から、大学生生活の「キャリアデザインの構築」と「大学生生活のキャリアデザイン」作成を通して、自己実現を目指す。						
【授業の概要】 具体的な就職活動について考え、計画し、実行するプロセスを通じて、「成りたい自分」の実現を目指します。特に昨今注目されている「社会人基礎力」をモデルに捉え、そのスキルの開発を行います。						
【準備学習(予習・復習)】 ・前期「キャリアデザインⅠ」で作成したシートを持参すること。 ・前回の授業内容をよく理解しておくこと、不明点は質問すること ・テキスト、配付プリントを整理し内容を理解すること						
【授業計画】 第01回 オリエンテーション キャリアデザインと就職活動 第02回 就職環境の理解と企業の知識 第03回 業界動向と会社選び 第04回 企業研究と就職活動 第05回 経験の棚卸（自己の学生生活の資産の棚卸） 第06回 自己PR文作成1 第07回 自己PR文作成2 第08回 エントリーシートの書き方1 第09回 エントリーシートの書き方2 第10回 志望動機のとまとめ方 第11回 面接対策1 何が問われるのか？ 第12回 面接対策2 グループ討議 第13回 面接対策3 確認 自己PRと志望動機 第14回 就職活動の設計 第15回 まとめ						
【テキスト】 プリント資料、ワークシートを配布します。						
【参考書・参考資料等】 授業中に紹介します。						
【成績評価の方法等】 課題（ワークシート）の評価（60％）、及びレポート（40％）の提出						
【履修要件等】						

区 分	高城科目－キャリア教育科目	担当教員	竹元 雅彦			
授業科目	インターンシップ I					授業形態
英 訳	Internship I					単独
配当年次	3年次 前期	必選別	選択	単位数	1 単位	
【授業の目的】 インターンシップに参加することで、実際の仕事、「働くこと」への理解を深める。						
【授業の到達目標】 インターンシップを通じて、企業や仕事に関する知識を高める。						
【授業の概要】 この授業では、企業等での実習（＝就業体験）を通じて、将来の進路や職業の選択に向けた就業観の養成を目的とします。企業への派遣にあたり、インターンシップの意義・目的についての理解を深めます。（インターンシップ実習は夏季休暇中）						
【準備学習(予習・復習)】 ・前回の授業内容をよく理解しておくこと、不明点は質問すること ・テキスト、配付プリントを整理し内容を理解すること						
【授業計画】 第01回 オリエンテーション インターンシップとは 第02回 働く意味と仕事（仕事・志事・私事） 第03回 企業の仕組みを知る 第04回 企業研究 業界と業種 第05回 企業研究 広島企業を知る 第06回 講話「企業が求める人材」（地元企業 採用担当者） 第07回 ビジネスの基本1 仕事の評価とPDCA サイクル 第08回 ビジネスの基本2 利益とは何か 第09回 ビジネスの基本3 ビジネスコミュニケーションの重要性 第10回 自己の興味と特性を仕事に活かす 第11回 実習希望先の選択 第12回 実習希望先へのエントリー 第13回 インターンシップ参加手続き 第14回 レポート、日誌等の作成方法 第15回 まとめ						
【テキスト】 プリント資料を配布します。						
【参考書・参考資料等】 授業中に紹介します。						
【成績評価の方法等】 課題（ワークシート）の評価（60%）、及びレポート（40%）の提出						
【履修要件等】 インターンシップⅡも必ず受講すること。						

区 分	高城科目－キャリア教育科目	担当教員	竹元 雅彦			
授業科目	インターンシップⅡ					授業形態
英 訳	Internship Ⅱ					単独
配当年次	3年次 後期	必選別	選択	単位数	1 単位	
【授業の目的】 インターンシップの受け入れ企業で就業体験を行い、働く上での様々な経験、知識を得る。受け入れ先企業とのマッチング成立が前提条件となります。						
【授業の到達目標】 ① インターンシップの体験を通して、企業での仕事の内容を理解する。 ② インターンシップの体験を通して、自己の働く上での課題を認識する。						
【授業の概要】 夏季休暇中のインターンシップの内容をまとめ、パワーポイントを使用して、プレゼンテーションを行う。						
【準備学習(予習・復習)】 インターンシップの体験を記録として、残しておくこと。全員が報告発表を行います。						
【授業計画】 第01回 ガイダンス 第02回 インターンシップ参加手続き 第03回 時間管理と自己管理 報連相 第04回 インターンシップ実習1 第05回 インターンシップ実習2 第06回 インターンシップ実習3 第07回 インターンシップ実習4 第08回 インターンシップ実習5 第09回 インターンシップ実習6 第10回 インターンシップ実習7 第11回 インターンシップ実習8 第12回 インターンシップ実習9 第13回 報告書の作成と提出 第14回 報告会の準備 第15回 報告会の実施						
【テキスト】 プリント資料を配布します。						
【参考書・参考資料等】						
【成績評価の方法等】 実習報告書の評価 (50%)、発表会でのプレゼンテーションの評価 (50%)						
【履修要件等】 インターンシップⅠの受講者に限定する。						

区 分	高城科目－キャリア教育科目	担当教員	橋元 純也		
授業科目	特別キャンパス活動 I				授業形態
英 訳	Special Activities on Campus I				複数
配当年次	1年次前期～3年次後期	必選別	選択	単位数	1～4単位
【授業の目的】					
①本大学の教育理念「信和・協同・実践」を具現化するために、②学内外ないし国内外のあらゆる場所を学びのキャンパスとしながら、スポーツ活動・芸術活動・ボランティア活動・地域連携活動・異文化体験といった各種の課外活動を積極的におこなう学生を支援し、③コミュニケーション能力・共感力・共生力・自主性・企画力・リーダーシップなどを有して地域社会・国際社会に貢献できる人材を育成する。					
【授業の到達目標】					
本大学の教育理念「信和・協同・実践」に則した課外活動に積極的に取り組み、みずからの個性・持ち味に応じた能力を身につける。 ※科目「特別キャンパス活動」活動グループ自己評価表（下記URL）参照 http://www.hkg.ac.jp/~hashimoto/blog/rubrics-saoc					
【授業の概要】					
活動責任者（本大学の教職員）の指導・監督のもと課外活動をおこない、その内容・活動時間に応じて単位が認定される。					
【準備学習(予習・復習)】					
活動中およびその前後において、活動責任者との連絡を密にし、その指導・監督を仰ぐこと。					
【授業計画】					
1. 「教育計画書」の提出 活動学生が単位取得を希望する場合、学生の自治組織である学友会所属のクラブ・サークルなどの団体、および学友会以外の自主的な活動団体・個人を指導・監督する活動責任者（本大学の教職員）に「教育計画書」の提出を求める。「教育計画書」には、活動グループ名・活動責任者名の他、活動の目的・活動期間・活動の概略など必要事項を記載する。なお、活動内容等に大きな変更のあった場合は、教育計画書の再提出を求める。					
2. 「活動認定書」他の提出 活動責任者が活動学生の単位認定を年度末に申請する場合、「活動認定書」の提出を求める。「活動認定書」には、活動によって得られた教育効果などを記載するとともに、活動学生の学生番号・氏名・活動の合計時間を記した「活動学生リスト」、本大学の教育理念「信和・協同・実践」に則した活動であることが確認できる「自己評価表」（上記URL参照）、および活動記録・写真・ブログ記事・報道資料といった「活動内容資料」を添付する。					
3. 審査と単位認定 提出された「教育計画書」「活動認定書」および添付資料は、総合教育センター合同部会において審査し、活動時間・内容に応じて、活動学生ごとに単位を認定する。なお、科目担当者は、各活動責任者との連絡、提出書類のとりまとめ、単位認定の原案作成などを担当する。					
【テキスト】					
【参考書・参考資料等】					
【成績評価の方法等】					
成績評価は合否判定方式でおこなう。なお、合格の場合の取得単位数は、原則30時間の同一活動で1単位とし、半期2単位まで、合計4単位までの認定とする。					
【履修要件等】					
「教育計画書」を提出した活動グループの活動責任者が認定した者のみ履修登録すること。					

区 分	高城科目－キャリア教育科目	担当教員	橋元 純也		
授業科目	特別キャンパス活動Ⅱ				授業形態
英 訳	Special Activities on Campus II				複数
配当年次	1年次前期～3年次後期	必選別	選択	単位数	1～4単位
【授業の目的】					
①本大学の教育理念「信和・協同・実践」を具現化するために、②学内外ないし国内外のあらゆる場所を学びのキャンパスとしながら、スポーツ活動・芸術活動・ボランティア活動・地域連携活動・異文化体験といった各種の課外活動を積極的におこなう学生を支援し、③コミュニケーション能力・共感力・共生力・自主性・企画力・リーダーシップなどを有して地域社会・国際社会に貢献できる人材を育成する。					
【授業の到達目標】					
本大学の教育理念「信和・協同・実践」に則した課外活動に積極的に関わり、みずからの個性・持ち味に応じた能力を身につける。 ※科目「特別キャンパス活動」活動グループ自己評価表（下記URL）参照 http://www.hkg.ac.jp/~hashimoto/blog/rubrics-saoc					
【授業の概要】					
活動責任者（本大学の教職員）の指導・監督のもと課外活動をおこない、その内容・活動時間に応じて単位が認定される。なお、「特別キャンパス活動Ⅰ」における4単位取得者を本科目の単位認定対象とする。					
【準備学習(予習・復習)】					
活動中およびその前後において、活動責任者との連絡を密にし、その指導・監督を仰ぐこと。					
【授業計画】					
1. 「教育計画書」の提出 活動学生が単位取得を希望する場合、学生の自治組織である学友会所属のクラブ・サークルなどの団体、および学友会以外の自主的な活動団体・個人を指導・監督する活動責任者（本大学の教職員）に「教育計画書」の提出を求める。「教育計画書」には、活動グループ名・活動責任者名その他、活動の目的・活動期間・活動の概略など必要事項を記載する。なお、活動内容等に大きな変更があった場合は、教育計画書の再提出を求める。					
2. 「活動認定書」他の提出 活動責任者が活動学生の単位認定を年度末に申請する場合、「活動認定書」の提出を求める。「活動認定書」には、活動によって得られた教育効果などを記載するとともに、活動学生の学生番号・氏名・活動の合計時間を記した「活動学生リスト」、本大学の教育理念「信和・協同・実践」に則した活動であることが確認できる「自己評価表」（上記URL参照）、および活動記録・写真・ブログ記事・報道資料といった「活動内容資料」を添付する。					
3. 審査と単位認定 提出された「教育計画書」「活動認定書」および添付資料は、総合教育センター合同部会において審査し、活動時間・内容に応じて、活動学生ごとに単位を認定する。なお、科目担当者は、各活動責任者との連絡、提出書類のとりまとめ、単位認定の原案作成などを担当する。					
【テキスト】					
【参考書・参考資料等】					
【成績評価の方法等】					
成績評価は合否判定方式でおこなう。なお、合格の場合の取得単位数は、原則30時間の同一活動で1単位とし、半期2単位まで、合計4単位までの認定とする。					
【履修要件等】					
「教育計画書」を提出した活動グループの活動責任者が認定した者のみ履修登録すること。					